

今回の紹介地区 No.065 **広島県 神石高原町 井関地区** いぜき

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要：農地面積 45.9ha、うち耕作放棄地 0.9ha
 放棄の理由：高齢化による労働力不足とイノシシ等の鳥獣被害増加
 荒廃の程度：雑草や雑木等が繁茂しており、人力、農業機械、重機による作業が必要

取組概要

対象面積：0.18ha(田) (再生作業単価 22.2万円/10a)
 実施期間：平成22年2月26日～3月18日
 取組のきっかけ：地域協議会の説明会を通じて、地域の担い手である農事組合法人が経営規模拡大(キャベツ栽培面積拡大)の取り組みの一環として、本対策を利用することとなった
 調整経緯：集落内の担い手である農事組合法人と地権者が調整を行い実施
 取組主体：農事組合法人 黄金の里井関(予定作物：キャベツ、カボチャ)
 作業内容：雑草・雑木等の伐採、刈り払い、抜根、耕起・整地、土壌改良(堆肥散布)

今後の予定

平成22年2月～3月に再生作業を実施。平成22年度から堆肥の散布を行いキャベツやカボチャの作付けを行い、経営の安定化を図る。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後